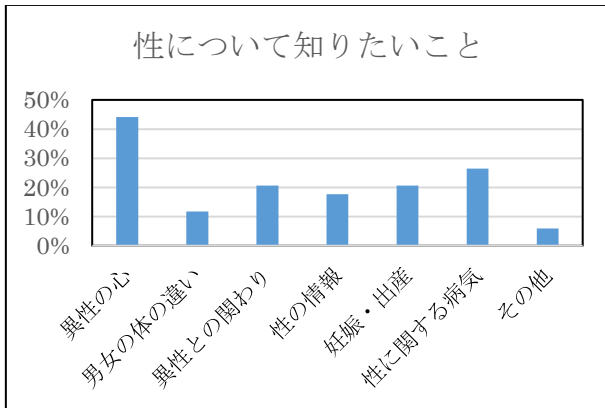


笑 顔

2020年8月3日
幸手市立東中学校
保 健 室

2年生は7月30日に竹内助産師を迎え「思春期の心と体講演会」を行いました。事前アンケートをもとに、命を科学的に考えることなど、しっかり理解してほしいこととお話してくださいました。



(1) 今日の講演会でわかったことはどんなことですか。(箇条書き)

- ・思春期は、成長していく上で、とても大事な時期。
- ・異性に対しての接し方は、小学生の時とは違う。
- ・睡眠・食事・運動が大切。
- ・LGBTについて（性の違い・心の感じ方）
- ・自分の人生は自分で守り、決断する。ライフプランを考えて行動する。
- ・子供を育てるには、死のリスクを背負ったり、お金がかかったり、とても大変だということ。
- ・自分の心や体が成長するには時間がかかる。人を育てるといのは1つの命を育てるのと同じことで大変なこと。
- ・漫画や、ドラマ、小説、友人からの情報は信じない。正しい情報は、保健の教科書。
- ・情報の選択をする。その情報が正しい情報なのか誤った情報なのかを自分で判断する。
- ・他者への配慮は、自分を守ることにもつながる。考える行動が自分を守ること。
- ・母親の健康は、赤ちゃんの健康に影響する。たばこは、赤ちゃんの成長に悪い影響を与える。
- ・思春期の頃は、肌が弱く性感染症にもなりやすい。無理をさせたり傷つけたりしない。

〈事前アンケートより〉

性情報をどんなものから得ますか

ネット、テレビ、友達、漫画、保健の教科書

正しい情報

(2) これからの生活で気をつけることは何ですか

- ・性に関してはいろいろな考え方があり、それぞれの個性を大切にしたい。
- ・自分が嫌な時は、「いや」と自分の意見をしっかり相手に伝えるようにしたい。
- ・相手の気持ちを考える。性の行動は、衝動のスイッチが入らないようにコントロールする。
- ・犯罪トラブルに巻き込まれないように、でかける時間、場所、服装を考える。異性との接し方を考えて行動する。自分や相手の心の違いを理解し、正しい判断をしていこうと思いました。
- ・自分のライフプランを考えて、半年後の未来を想像して、今をしっかり行動をしていく。
- ・性感染症は生まれてくる赤ちゃんにまで影響する可能性があるので注意する。専門家に相談する。困った時は「SOS」をだしていい。
- ・私たちの体は、妊娠もできるけど、心はまだ子供でお金もないし責任も取れない。感情だけで動かないで、「まず第一に考えよう」と思った。